

平成30年度 水道・下水道事業会計 予算（案） 概要

平成30年2月22日
第1回経営審議会 資料1

企業会計予算規模 14,519,381千円
(前年度 14,575,831千円 0.4%減)

水道事業会計

収入予算規模 5,723,242千円
(前年度 5,743,215千円 0.3%減)

純利益(税抜) 434,808千円
(前年度 381,476千円 14.0%増)

支出予算規模 6,922,124千円
(前年度 6,850,344千円 1.0%増)

内部留保資金 1,729,703千円
(前年度 1,250,890千円 38.3%増)

下水道事業会計

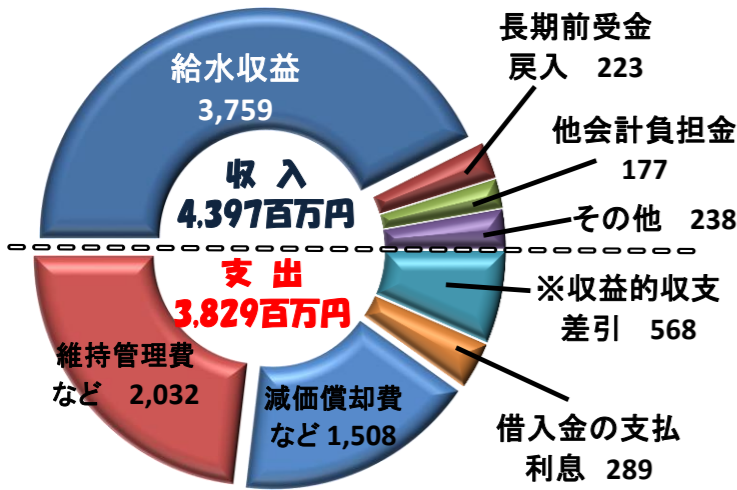
収入予算規模 6,376,250千円
(前年度 6,539,881千円 2.5%減)

純利益(税抜) 560,861千円
(前年度 493,352千円 13.7%増)

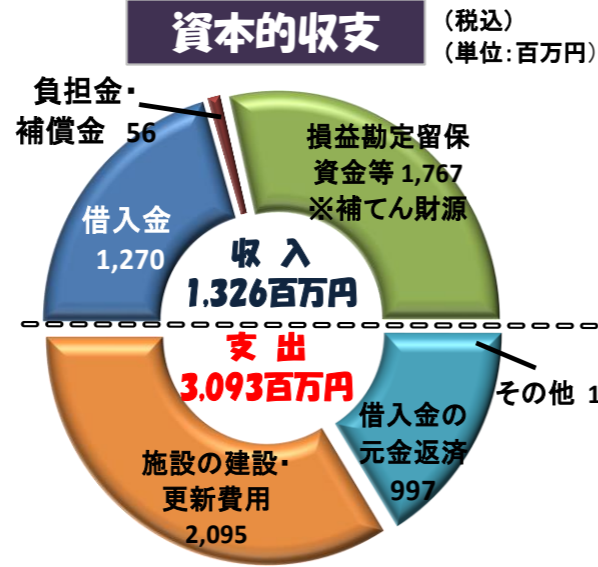
支出予算規模 7,597,257千円
(前年度 7,725,487千円 1.7%減)

内部留保資金 915,951千円
(前年度 771,331千円 18.7%増)

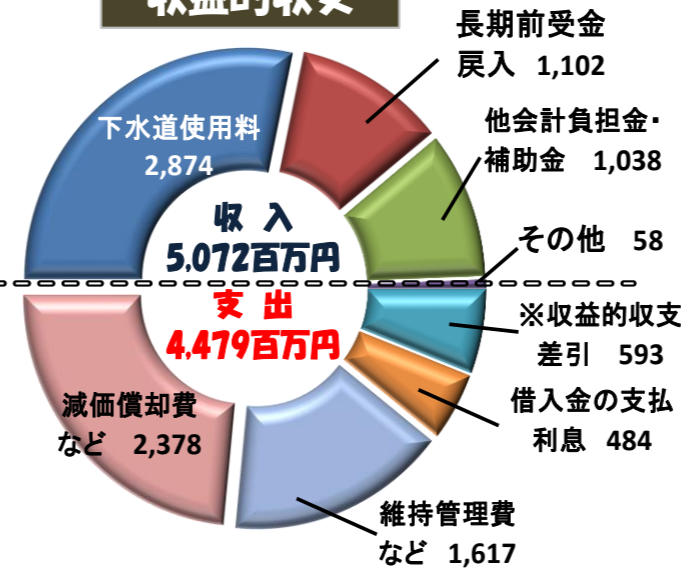
収益的収支



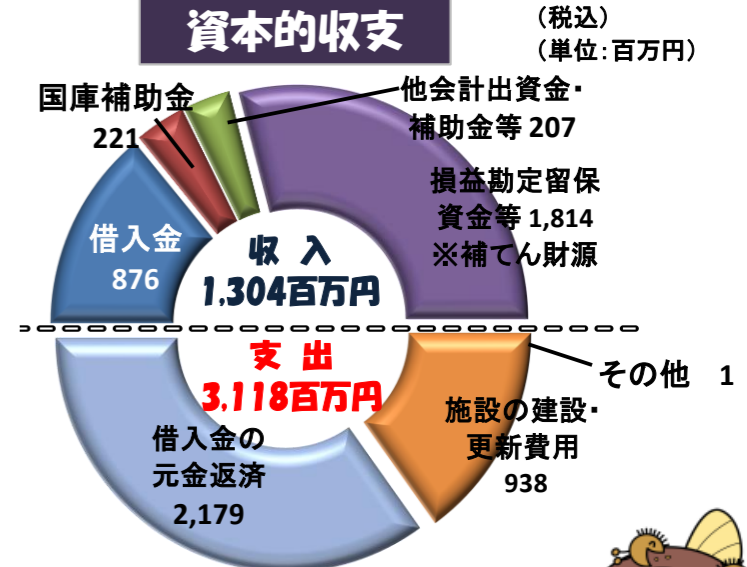
資本的収支



収益的収支



資本的収支



水道事業の主な取組内容

- 配水管の整備 (1,101,500千円)
水道管更新などの整備を進め、耐震性の向上など、水道水の安定供給を図るもの。

- 稲田浄水場の施設の整備 (572,851千円)
水道の根幹施設である稲田浄水場施設の老朽化対策として、設備機器の更新を実施するもの。

下水道事業の主な取組内容

- 公共下水道の整備 (329,000千円)
道路工事等に伴う汚水管整備のほか、降雨時に浸水の恐れがある地区などに雨水管整備を行うもの。
- 下水道管渠の長寿命化 (212,000千円)
ライフサイクルコストの縮減と事故未然防止を目的に、下水道管渠の長寿命化計画により、計画的な改修・更新を行うもの。

- 帯広川下水終末処理場施設の改修 (177,000千円)
老朽化が進んでいる処理場設備の更新を行うもの。
- マンホール蓋のカラー化 (6,100千円)
カラーマンホール蓋を作成し、中心市街地や競馬場前の歩道部等に設置するもの。

災害対策等の取組内容

- 災害対策備蓄資器材の整備 (5,449千円)
大規模な断水等に備えた応急給水の体制を強化するため、応急給水コンテナ等の災害対策備蓄資器材を購入するもの。
- 雨水管の整備（災害対策） (89,000千円)
平成28年度の台風時に浸水被害のあった地域の雨水管整備を優先して行うもの。

- 水道・下水道の技術の継承
次の世代に技術の継承が図れるよう、上下水道部技術継承基本計画に基づき、専門的研修への参加や事務手続きの統一化・効率化等の取組を実施するもの。